

目的

ベイエリアを拠点とした賑わい空間を創出し、地域の活性化に寄与する

運営

シンクながさき、長崎商工会議所、構成施設管理者、周辺商業施設運営者

構成施設

県有9施設(水辺の森公園等)、市有1施設、民間2施設(出島ワフ、ゆめタウン夢彩都)

活動内容

- ◎賑わい空間を創出する共同イベントの開催
- ◎住民が主体となったクルーズ客との交流イベント等の企画
- ◎ベイエリアでの統一したキャラクターやグッズ等の開発

メリット

- ◎みなとオアシスSea級グルメ全国大会の誘致・開催による地元のPR
- ◎ベイエリア内の各施設間の連携強化

みなとオアシスのイメージ

みなとオアシスとは、地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を、国土交通省港湾局が登録するもので、「みなとオアシスNAGASAKI」は全国118箇所目の登録となります。

みなとオアシスは、交流・休憩、情報提供、災害支援、物販、飲食等を提供するため、以下のような施設から構成されておりますが、規模や構成施設は、各みなとオアシスによって異なります。



図：みなとオアシスの施設の例

長崎港のベイエリアにおいては、水辺の森公園などで様々なイベントが開催され、多くの観光客で賑わっていますが、限定的なエリアでの賑わいとなっていることから、港全体での賑わいを創出し、交流人口の拡大による地域の活性化につなげていく必要があります。

この課題解決に向け、県、市、経済団体が連携し取り組んだ結果、7月28日に、港を核とした地域振興が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局が認定する「みなとオアシス」に登録されました。

この登録により、県有施設や民間の商業施設など賑わいの拠点となる施設が連携を図り、エリア全体でのイベントの開催などにより地域の活性化が期待されます。

みなとまち長崎において、港の活性化から地域の活性化につなげていきます。

長崎港ベイエリアの活性化
〜みなとオアシスの登録〜



このロゴが目印!

